

第4章 子育て環境について

1. 子育ての情報源や悩んでいることについて

(1) 子育てに必要な施策などの情報の入手先

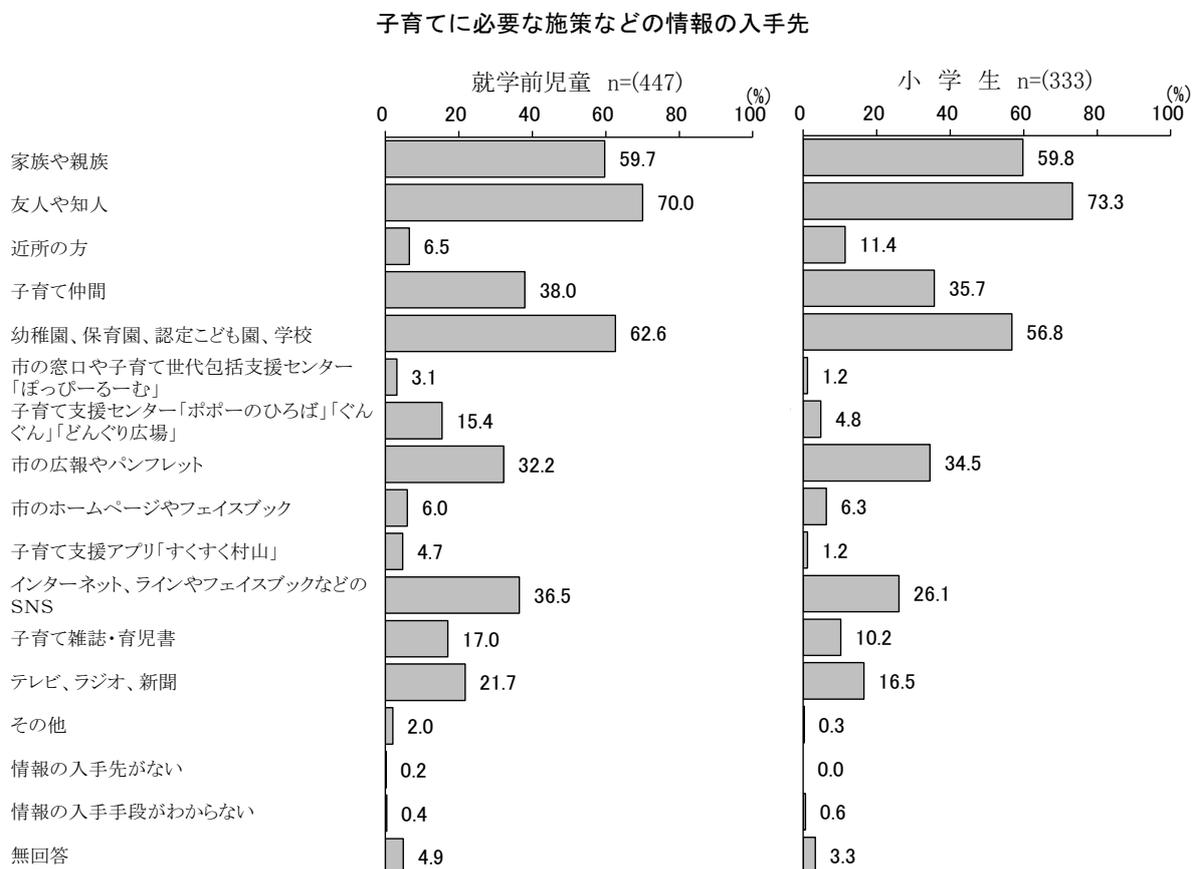
○子育てに必要な施策などの情報の入手先をみると、就学前児童では「友人や知人」(70.0%)、「幼稚園、保育園、認定こども園、学校」(62.6%)、「家族や親族」(59.7%)、「子育て仲間」(38.0%)、「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」(36.5%)、「市の広報やパンフレット」(32.2%)の順になっている。一方、小学生では「友人や知人」(73.3%)、「家族や親族」(59.8%)、「幼稚園、保育園、認定こども園、学校」(56.8%)、「子育て仲間」(35.7%)、「市の広報やパンフレット」(34.5%)、「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」(26.1%)の順になっている。また、就学前児童では「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」が小学生に比べて10.4ポイント多くなっている。

○年齢別(3区分)にみると、0歳児では「子育て支援センター「ポポーのひろば」「ぐんぐん」「どんぐり広場」(23.5%)、「インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS」(44.1%)が他の年齢に比べて多く、一方、3～5歳児では「幼稚園、保育園、認定こども園、学校」(68.4%)が他の年齢に比べて多くなっている。

【就学前児童 問32】【小学生 問18】

子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。

(あてはまる番号すべてに○)



<年齢別>

	調査数	家族や親族	友人や知人	近所の方	子育て仲間	幼稚園、保育園、学校	市の窓口や子育て世代包括支援センター「ほつび」	市の広報やパンフレット	市のホームページやフェイスタック	子育て支援アプリ「すくすく村山」	S	インターネット、ライオンやフェイスタックなどのSNS	子育て雑誌・育児書	テレビ、ラジオ、新聞	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答
全体	447 100.0	267 59.7	313 70.0	29 6.5	170 38.0	280 62.6	14 3.1	144 32.2	27 6.0	21 4.7	163 36.5	76 17.0	97 21.7	9 2.0	1 0.2	2 0.4	22 4.9	
年齢別																		
0歳	102 100.0	67 65.7	72 70.6	5 4.9	40 39.2	52 51.0	7 6.9	24 23.5	8 7.8	11 10.8	45 44.1	20 19.6	20 19.6	2 2.0	1 1.0	0 0.0	6 5.9	
1歳	70 100.0	42 60.0	50 71.4	4 5.7	21 30.0	45 64.3	4 5.7	14 20.0	3 4.3	2 2.9	28 40.0	11 15.7	17 24.3	2 2.9	0 0.0	1 1.4	2 2.9	
2歳	71 100.0	43 60.6	52 73.2	3 4.2	26 36.6	46 64.8	1 1.4	17 23.9	6 8.5	4 5.6	25 35.2	12 16.9	16 22.5	3 4.2	0 0.0	0 0.0	1 1.4	
3歳	65 100.0	38 58.5	42 64.6	5 7.7	21 32.3	44 67.7	0 0.0	4 6.2	17 26.2	4 6.2	19 29.2	15 23.1	13 20.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	7 10.8	
4歳	69 100.0	44 63.8	47 68.1	6 8.7	28 40.6	42 60.9	1 1.4	4 5.8	17 24.6	2 2.9	25 36.2	6 8.7	14 20.3	0 0.0	0 0.0	1 1.4	3 4.3	
5歳	59 100.0	27 45.8	44 74.6	6 10.2	32 54.2	46 78.0	0 0.0	4 6.8	22 37.3	4 6.8	18 30.5	9 15.3	15 25.4	1 1.7	0 0.0	0 0.0	1 1.7	
年齢別（3区分）																		
0歳	102 100.0	67 65.7	72 70.6	5 4.9	40 39.2	52 51.0	7 6.9	24 23.5	8 7.8	11 10.8	45 44.1	20 19.6	20 19.6	2 2.0	1 1.0	0 0.0	6 5.9	
1～2歳	141 100.0	85 60.3	102 72.3	7 5.0	47 33.3	91 64.5	5 3.5	31 22.0	9 6.4	6 4.3	53 37.6	23 16.3	33 23.4	5 3.5	0 0.0	1 0.7	3 2.1	
3～5歳	193 100.0	109 56.5	133 68.9	17 8.8	81 42.0	132 68.4	1 0.5	12 6.2	10 5.2	4 2.1	62 32.1	30 15.5	42 21.8	2 1.0	0 0.0	1 0.5	11 5.7	

<学年別>

	調査数	家族や親族	友人や知人	近所の方	子育て仲間	幼稚園、保育園、学校	市の窓口や子育て世代包括支援センター「ほつび」	市の広報やパンフレット	市のホームページやフェイスタック	子育て支援アプリ「すくすく村山」	S	インターネット、ライオンやフェイスタックなどのSNS	子育て雑誌・育児書	テレビ、ラジオ、新聞	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答
全体	333 100.0	199 59.8	244 73.3	38 11.4	119 35.7	189 56.8	4 1.2	16 4.8	21 6.3	4 1.2	87 26.1	34 10.2	55 16.5	1 0.3	0 0.0	2 0.6	11 3.3	
学年別																		
1年生	105 100.0	68 64.8	75 71.4	14 13.3	38 36.2	65 61.9	1 1.0	9 8.6	9 8.6	2 1.9	22 21.0	8 7.6	17 16.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 3.8	
2年生	125 100.0	74 59.2	93 74.4	14 11.2	44 35.2	72 57.6	3 2.4	5 4.0	8 6.4	1 0.8	34 27.2	12 9.6	19 15.2	0 0.0	0 0.0	0 0.8	6 4.8	
3年生	85 100.0	45 52.9	60 70.6	7 8.2	26 30.6	43 50.6	0 0.0	2 2.4	2 2.4	1 1.2	26 30.6	11 12.9	14 16.5	0 0.0	0 0.0	1 1.2	1 1.2	

(2) 子育てに関して日常悩んでいることや気になること

○子育てに関して日常悩んでいることや気になることをみると、就学前児童では「病気や発育・発達に関すること」(36.5%)、「食事や栄養に関すること」(34.7%)、「子どもの教育に関すること」(28.4%)、「子どもとの時間が十分にとれないこと」(27.7%)の順になっており、発育、発達などの成長に関する悩みが多くなっている。一方、小学生では「子どもの教育に関すること」(40.2%)、「病気や発育・発達に関すること」(27.0%)、「子どもの友だちづきあい(いじめ等含む)」(25.8%)、「食事や栄養に関すること」(25.5%)の順になっており、就学前児童との違いがみられる。

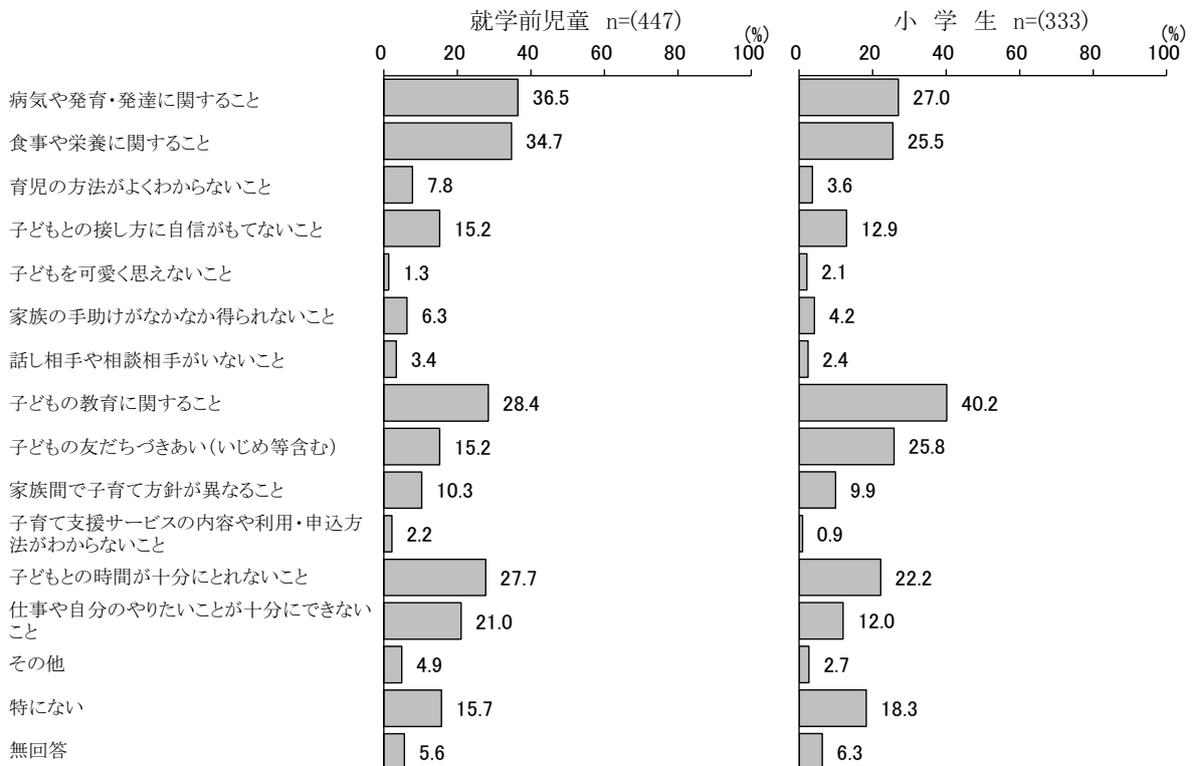
○年齢別(3区分)・学年別にみると、0歳では「病気や発育・発達に関すること」(47.1%)、「食事や栄養に関すること」(46.1%)が1番に悩んでいることや気になることとなっており、おおむね年齢が上がるほど少なくなっている。一方、「子どもの教育に関すること」、「子どもの友だちづきあい(いじめ等含む)」は、おおむね年齢が上がるほど多くなっている。

【就学前児童 問33】【小学生 問19】

子育てに関して、日常悩んでいること、または気になるのはどのようなことですか。

(あてはまる番号すべてに○)

子育てに関して日常悩んでいることや気になること



<年齢別>

	調査数	こ病 気や 発育・ 発達に 関する	食 事や 栄養に 関する	育 児の 方法が よくわ からな いこと	子 どもと の接し 方に自 信がも てない こと	子 どもを 可愛く 思えな いこと	家 族の手 助けが なかな か得ら れない こと	話 し相手 や相談 相手が いな	子 どもの 教育に 関する	子 どもの 友だち づきあ い(い じめ等 含む)	家 族間で 子育て 方針が 異なる こと	子 育て支 援サー ビスの 内容が わから ないこ と	子 どもと の時間 が十分 にとれ ないこ と	仕 事や自 分のや りたい ことが 十分に できな いこと	そ の他	特 にない	無 回答
全 体	447 100.0	163 36.5	155 34.7	35 7.8	68 15.2	6 1.3	28 6.3	15 3.4	127 28.4	68 15.2	46 10.3	10 2.2	124 27.7	94 21.0	22 4.9	70 15.7	25 5.6
年齢別																	
0歳	102 100.0	48 47.1	47 46.1	11 10.8	15 14.7	2 2.0	9 8.8	5 4.9	22 21.6	12 11.8	8 7.8	4 3.9	24 23.5	20 19.6	3 2.9	15 14.7	5 4.9
1歳	70 100.0	21 30.0	30 42.9	2 2.9	13 18.6	2 2.9	4 5.7	2 2.9	21 30.0	9 12.9	6 8.6	0 0.0	27 38.6	22 31.4	6 8.6	7 10.0	2 2.9
2歳	71 100.0	25 35.2	22 31.0	10 14.1	12 16.9	1 1.4	4 5.6	3 4.2	26 36.6	8 11.3	9 12.7	0 0.0	21 29.6	16 22.5	7 9.9	10 14.1	2 2.8
3歳	65 100.0	24 36.9	16 24.6	4 6.2	8 12.3	0 0.0	5 7.7	3 4.6	13 20.0	9 13.8	4 6.2	3 4.6	18 27.7	17 26.2	1 1.5	15 23.1	6 9.2
4歳	69 100.0	21 30.4	25 36.2	5 7.2	12 17.4	0 0.0	4 5.8	0 0.0	23 33.3	16 23.2	8 11.6	0 0.0	18 26.1	13 18.8	3 4.3	10 14.5	5 7.2
5歳	59 100.0	20 33.9	12 20.3	2 3.4	7 11.9	1 1.7	2 3.4	1 1.7	19 32.2	13 22.0	11 18.6	2 3.4	14 23.7	4 6.8	2 3.4	11 18.6	3 5.1
年齢別 (3区分)																	
0歳	102 100.0	48 47.1	47 46.1	11 10.8	15 14.7	2 2.0	9 8.8	5 4.9	22 21.6	12 11.8	8 7.8	4 3.9	24 23.5	20 19.6	3 2.9	15 14.7	5 4.9
1～2歳	141 100.0	46 32.6	52 36.9	12 8.5	25 17.7	3 2.1	8 5.7	5 3.5	47 33.3	17 12.1	15 10.6	0 0.0	48 34.0	38 27.0	13 9.2	17 12.1	4 2.8
3～5歳	193 100.0	65 33.7	53 27.5	11 5.7	27 14.0	1 0.5	11 5.7	4 2.1	55 28.5	38 19.7	23 11.9	5 2.6	50 25.9	34 17.6	6 3.1	36 18.7	14 7.3

<学年別>

	調査数	こ病 気や 発育・ 発達に 関する	食 事や 栄養に 関する	育 児の 方法が よくわ からな いこと	子 どもと の接し 方に自 信がも てない こと	子 どもを 可愛く 思えな いこと	家 族の手 助けが なかな か得ら れない こと	話 し相手 や相談 相手が いな	子 どもの 教育に 関する	子 どもの 友だち づきあ い(い じめ等 含む)	家 族間で 子育て 方針が 異なる こと	子 育て支 援サー ビスの 内容が わから ないこ と	子 どもと の時間 が十分 にとれ ないこ と	仕 事や自 分のや りたい ことが 十分に できな いこと	そ の他	特 にない	無 回答
全体	333 100.0	90 27.0	85 25.5	12 3.6	43 12.9	7 2.1	14 4.2	8 2.4	134 40.2	86 25.8	33 9.9	3 0.9	74 22.2	40 12.0	9 2.7	61 18.3	21 6.3
年齢別																	
1年生	105 100.0	33 31.4	25 23.8	4 3.8	8 7.6	3 2.9	5 4.8	4 3.8	34 32.4	29 27.6	11 10.5	2 1.9	21 20.0	15 14.3	3 2.9	19 18.1	8 7.6
2年生	125 100.0	31 24.8	35 28.0	7 5.6	19 15.2	4 3.2	4 3.2	3 2.4	52 41.6	25 20.0	14 11.2	0 0.0	28 22.4	12 9.6	4 3.2	29 23.2	5 4.0
3年生	85 100.0	21 24.7	21 24.7	1 1.2	12 14.1	0 0.0	2 2.4	1 1.2	40 47.1	25 29.4	5 5.9	1 1.2	17 20.0	11 12.9	2 2.4	10 11.8	8 9.4

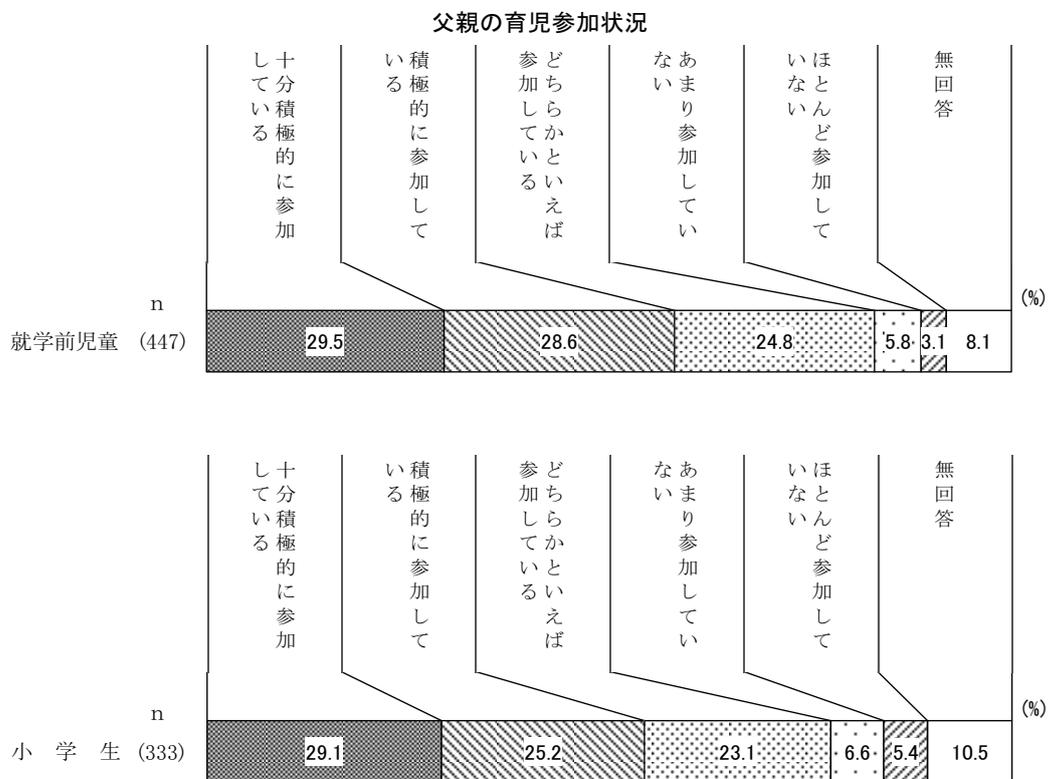
(3) 父親の育児参加状況

○父親の育児参加状況を見ると、両者ともに「十分積極的に参加している」(就学前児童 29.5%・小学生 29.1%) が最も多く、これに「積極的に参加している」「どちらかといえば参加している」を合わせた“参加している” (就学前児童 82.9%・小学生 77.4%) が、「あまり参加していない」と「ほとんど参加していない」を合わせた“参加していない” (就学前児童 8.9%・小学生 12.0%) を大きく上回っている。

【就学前児童 問 34】【小学生 問 20】

お子さんの父親は、育児にどのくらい参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

※母子家庭の場合は回答は不要です。



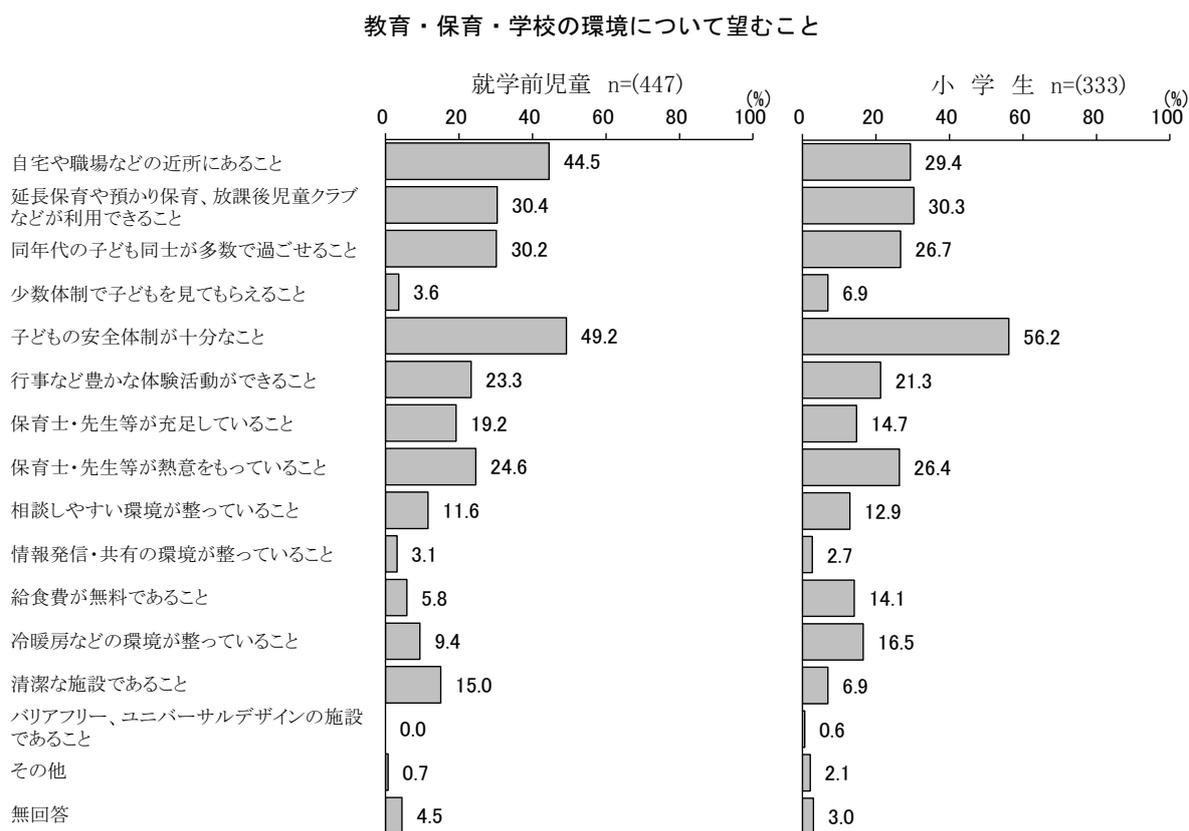
2. 子育て環境について

(1) 教育・保育・学校の環境について望むこと

○教育・保育・学校の環境について望むことをみると、両者ともに「子どもの安全体制が十分なこと」(就学前児童 49.2%・小学生 56.2%) が最も多く、「自宅や職場などの近所にあること」(就学前児童 44.5%・小学生 29.4%)、「延長保育や預かり保育、放課後児童クラブなどが利用できること」(就学前児童 30.4%・小学生 30.3%)、「同年代の子ども同士が多数で過ごせること」(就学前児童 30.2%・小学生 26.7%)、「保育士・先生が熱意をもっていること」(就学前児童 24.6%・小学生 26.4%)、「行事など豊かな体験活動ができること」(就学前児童 23.3%・小学生 21.3%) などが上位項目となっており、特に学区の制約がない就学前児童では近所であることが重視されている。

【就学前児童 問 35】【小学生 問 21】

教育・保育・学校の環境について望むことは何ですか。(あてはまる番号3つまでに○)



(2) 本市独自の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと

- 本市独自の子育て支援施策の評価をみると、「評価する」「どちらかといえば評価する」を合わせた評価派の比率は、就学前児童でより高く、13項目中11項目が80%以上であり、そのうち上位5位は『④産後1ヶ月の母子健診が無料(95.1%)』、『⑤保育料が半額(94.6%)』、『⑨中学3年生まで医療費が無料(94.6%)』、『⑩給付型奨学金(91.8%)』、『⑥児童手当に年額9万円プラス(91.0%)』と、90%以上の高評価となっている。
- 小学生の評価派の比率は、『⑨中学3年生まで医療費が無料(94.0%)』、『④産後1ヶ月の母子健診が無料(89.8%)』、『⑤保育料が半額(89.5%)』、『⑩給付型奨学金(89.2%)』、『⑧ピロリ抗体検査と除去治療が無料(85.3%)』の順に高く、出産前・乳児期向けの項目の評価比率は就学前児童に比べやや下がっている。
- なお、『⑪転入者の家賃に年間10万円を助成』、『⑫新築住宅の設計費を助成』など対象者が限定されかつ1回限りの項目の評価は、他の項目に比べ低く、就学前児童、小学生ともに「わからない」が約10%、「評価しない」「どちらかといえば評価しない」を合わせた不評派も10%以上存在している。
- 本市独自の子育て支援施策で今後力を入れるべき項目をみると、「特にそう思う」「そう思う」を合わせた賛同派が多い項目は、支援施策の高評価項目と重なり、就学前児童、小学生ともに上位5項目は同様となっている。
- なお、今後の力を入れるべき項目で賛同者比率が他の項目に比べ低くなっているのは、転入者や住宅購入者向けの項目に加え、『③赤ちゃん応援ギフトを贈呈』が加わり、これも対象者がより限定されることが要因の1つと考えられる。

【就学前児童 問36】【小学生 問22】

村山市では独自の子育て支援を行っています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑬の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

本市独自の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと[就学前児童]

(%)

	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	評価する どちらかといえば	評価しない どちらかといえば	評価しない	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
① 不妊・不育治療に補助 (赤ちゃんが欲しくて治療している方を応援します。不妊治療は1回最高35万円(初回は最高50万円)を助成します。)	447	59.1	21.3	1.6	0.7	13.6	3.8	45.6	34.9	10.1	0.9	1.6	6.9
② 新生児聴覚検査費用を助成 (出産入院中に聴覚検査を受ける場合、3,500円を上限に助成します。)	447	72.9	16.6	0.9	0.4	6.0	3.1	53.7	30.6	6.7	1.1	1.3	6.5
③ 赤ちゃん応援ギフトを贈呈 (育児用品などをプレゼントします。)	447	57.7	27.5	2.9	2.7	5.1	4.0	41.8	30.0	16.8	3.4	1.6	6.5
④ 産後1ヶ月の母子健診が無料 (出産から1ヶ月経過した母子の健診費用を市が全額助成します。)	447	86.4	8.7	0.2	0.0	1.3	3.4	68.2	20.1	2.9	0.2	0.7	7.8
⑤ 保育料が半額 (村山市は独自に、お子さんの保育料を1人目から半額にしています。私立幼稚園や届出保育施設なども半額相当分を補助しています。さらに、同時入所のお子さん3人目以降は無料です。)	447	84.1	10.5	1.6	0.0	0.7	3.1	76.7	13.2	2.7	0.4	0.7	6.3
⑥ 児童手当に年額9万円プラス (第3子以降のお子さんが満3歳になるまで、1人あたり月額7,500円を上乗せして支給します。)	447	69.1	21.9	2.0	0.9	3.1	2.9	63.5	21.5	6.5	0.9	1.8	5.8
⑦ 小・中学生の学習を無料でサポート (中学1・2年生を対象にした学習会や主にひとり親家庭の小中学生を対象とした学習塾を開催します。)	447	54.6	29.1	4.0	0.4	8.7	3.1	49.9	26.6	14.8	0.9	1.3	6.5
⑧ ビロリ抗体検査と除去治療が無料 (中学2年生を対象に実施しています。)	447	65.3	21.9	3.4	0.2	5.1	4.0	55.5	26.2	9.2	0.9	0.9	7.4
⑨ 中学3年生まで医療費が無料	447	89.0	5.6	0.2	0.7	0.7	3.8	81.2	8.7	1.8	0.2	1.3	6.7
⑩ 給付型奨学金 (学ぶ意欲と能力がある子どもの高等学校、大学への進学を応援します。)	447	71.4	20.4	0.9	0.2	4.3	2.9	63.1	24.2	4.9	0.2	1.1	6.5
⑪ 転入者の家賃に年間10万円を助成 (市外から市内の民営アパートなどに転入する場合、年間10万円を最大3年間助成します。)	447	37.1	34.9	8.3	4.0	13.0	2.7	30.4	29.1	24.6	4.7	4.3	6.9
⑫ 新築住宅の設計費を助成 (市内に新築する際、雪や経済性を考えた「あんばい、いい家」設計コンペで入賞した設計を利用すると、最大150万円を助成します。)	447	41.4	31.8	9.6	4.5	9.8	2.9	36.0	26.4	21.5	4.7	5.1	6.3
⑬ 新築、土地・中古住宅の購入に最大150万円補助 (市内に定住を目的に新築または土地・中古住宅を購入する方に補助します。)	447	53.9	31.3	3.8	1.3	6.7	2.9	48.5	28.6	13.4	1.6	1.1	6.7

本市独自の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと〔小学生〕

(%)

	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	どちらかといえば	評価しない	どちらかといえば	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
① 不妊・不育治療に補助 (赤ちゃんが欲しくて治療している方を応援します。不妊治療は1回最高35万円(初回は最高50万円)を助成します。)	333	45.0	26.1	0.9	1.2	21.3	5.4	33.0	40.8	12.6	2.4	3.0	8.1
② 新生児聴覚検査費用を助成 (出産入院中に聴覚検査を受ける場合、3,500円を上限に助成します。)	333	55.0	25.5	0.9	0.9	12.6	5.1	39.0	38.7	9.9	1.5	1.5	9.3
③ 赤ちゃん応援ギフトを贈呈 (育児用品などをプレゼントします。)	333	38.7	34.2	4.8	5.1	10.8	6.3	24.0	37.5	19.2	4.8	5.1	9.3
④ 産後1ヶ月の母子健診が無料 (出産から1ヶ月経過した母子の健診費用を市が全額助成します。)	333	73.6	16.2	0.9	0.3	3.3	5.7	53.8	33.0	3.3	0.9	0.6	8.4
⑤ 保育料が半額 (村山市は独自に、お子さんの保育料を1人目から半額にしています。私立幼稚園や届出保育施設なども半額相当分を補助しています。さらに、同時入所のお子さん3人目以降は無料です。)	333	75.1	14.4	1.5	1.2	2.4	5.4	64.3	21.6	4.2	0.6	0.3	9.0
⑥ 児童手当に年額9万円プラス (第3子以降のお子さんが満3歳になるまで、1人あたり月額7,500円を上乗せして支給します。)	333	58.3	23.7	3.3	3.0	6.3	5.4	54.1	21.9	11.1	2.7	1.5	8.7
⑦ 小・中学生の学習を無料でサポート (中学1・2年生を対象にした学習会や主にひとり親家庭の小中学生を対象とした学習塾を開催します。)	333	51.1	29.1	5.7	1.2	6.9	6.0	43.2	31.2	12.3	2.4	1.8	9.0
⑧ ビロリ抗体検査と除去治療が無料 (中学2年生を対象に実施しています。)	333	61.0	24.3	0.6	0.9	7.5	5.7	51.1	29.1	7.8	0.9	0.9	10.2
⑨ 中学3年生まで医療費が無料	333	87.1	6.9	0.3	0.0	1.2	4.5	76.9	12.3	1.8	0.0	0.6	8.4
⑩ 給付型奨学金 (学ぶ意欲と能力がある子どもの高等学校、大学への進学を応援します。)	333	65.8	23.4	1.8	0.9	2.7	5.4	58.9	26.1	5.1	0.6	0.0	9.3
⑪ 転入者の家賃に年間10万円を助成 (市外から市内の民営アパートなどに転入する場合、年間10万円を最大3年間助成します。)	333	32.1	32.7	9.6	6.3	13.8	5.4	26.4	30.6	23.7	6.6	3.9	8.7
⑫ 新築住宅の設計費を助成 (市内に新築する際、雪や経済性を考えた「あんばい、いい家」設計コンペで入賞した設計を利用すると、最大150万円を助成します。)	333	35.4	28.2	10.5	5.7	14.4	5.7	31.8	26.7	20.7	6.6	5.7	8.4
⑬ 新築、土地・中古住宅の購入に最大150万円補助 (市内に定住を目的に新築または土地・中古住宅を購入する方に補助します。)	333	42.9	31.5	7.2	2.1	11.1	5.1	38.1	30.9	16.8	3.0	2.7	8.4

(3) 本市全体の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと

- 本市全体の子育て支援施策の評価をみると、「評価する」「どちらかといえば評価する」を合わせた評価派の比率は、就学前児童でより高く、10項目中4項目の『④健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援(93.1%)』、『②保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み(88.1%)』、『①パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み(80.6%)』、『⑤障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援(80.1%)』が80%以上となっている。
- 小学生の評価派は、『④健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援(87.7%)』、『②保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み(82.2%)』、『⑤障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援(78.3%)』、『③市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり(71.1%)』、『⑥困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実(71.1%)』などが上位となっている。
- なお、『⑦遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり』の項目の評価は、他の項目に比べ劣り、「評価しない」「どちらかといえば評価しない」を合わせた不評価は、就学前児童で20.8%、小学生で21.3%となっている。
- 本市全体の子育て支援施策で今後力を入れるべき項目をみると、「特にそう思う」「そう思う」を合わせた賛同派が多い項目は、支援施策の高評価項目と重なり、就学前児童で上位3項目、小学生で上位4項目は同様となっているが、現状の評価が低い『⑦遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり』が上位にあがってきている。
- なお、今後の力を入れるべき項目で「どちらともいえない」が多い『①パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み(就学前児童17.2%、小学生24.6%)』、『③市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり(就学前児童17.0%、小学生19.5%)』、『⑨若者の交流や地域との関わり、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり(就学前児童17.0%、小学生18.3%)』の3項目については、今後は内容の周知を一層図る必要がある。

【就学前児童 問37】【小学生 問23】

村山市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑩の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑩の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

本市全体の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと[就学前児童]

(%)

	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	どちらかといえば	評価しない	どちらかといえば	評価しない	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
① パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み	447	37.4	43.2	4.9	1.1	9.8	3.6	32.0	42.7	17.2	0.4	2.0	5.6
② 保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み	447	55.7	32.4	3.4	0.7	4.0	3.8	57.9	30.4	5.4	0.2	0.4	5.6
③ 市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり	447	31.8	45.9	8.5	2.7	7.2	4.0	35.8	38.0	17.0	2.2	1.6	5.4
④ 健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援	447	69.6	23.5	1.1	0.4	1.1	4.3	69.4	20.6	4.3	0.2	0.2	5.4
⑤ 障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援	447	53.0	27.1	2.0	0.2	13.9	3.8	56.2	27.3	9.6	0.4	1.1	5.4
⑥ 困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実	447	48.1	27.1	3.6	0.9	16.6	3.8	60.0	26.0	7.4	0.2	1.1	5.4
⑦ 遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり	447	38.3	28.2	12.5	8.3	8.9	3.8	59.7	25.7	8.1	1.1	1.1	4.3
⑧ 授業改善・学力向上のための支援や地域特色を生かした学習など、子どもの視点に立った生活環境デザインへの取り組み	447	34.9	30.9	7.4	3.1	19.9	3.8	45.0	33.6	13.4	1.1	2.0	4.9
⑨ 若者の交流や地域との関り、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり	447	32.4	30.0	9.8	2.5	21.0	4.3	40.0	36.0	17.0	1.1	1.6	4.3
⑩ 雇用拡大の促進や若者向けの安価で良好な住宅環境の提供、空き家の利用促進など、働く場や生活環境の確保への取り組み	447	34.5	30.6	10.7	4.3	16.1	3.8	48.3	34.5	11.2	0.2	1.6	4.3

本市全体の子育て支援施策の評価と今後力を入れるべきこと〔小学生〕

(%)

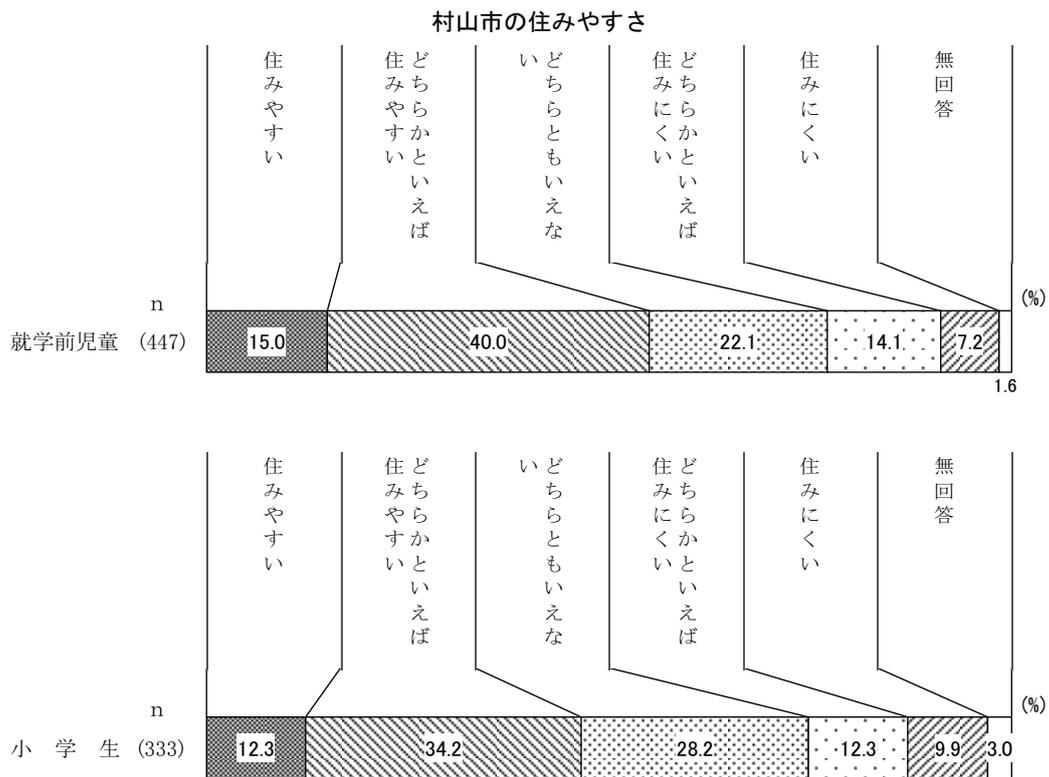
	調査数	(1) 施策の評価						(2) 今後力を入れるべきか					
		評価する	評価する どちらかといえば	評価しない どちらかといえば	評価しない	わからない	無回答	特にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
① パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み	333	24.0	45.9	7.2	1.2	17.4	4.2	22.5	41.1	24.6	2.7	1.2	7.8
② 保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み	333	42.6	39.6	4.5	2.1	6.9	4.2	47.4	33.9	8.7	1.2	0.6	8.1
③ 市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり	333	23.4	47.7	9.9	1.8	13.2	3.9	24.3	42.6	19.5	3.9	1.2	8.4
④ 健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援	333	57.7	30.0	3.3	0.3	4.5	4.2	57.1	27.3	6.3	0.6	0.3	8.4
⑤ 障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援	333	43.8	34.5	5.4	0.9	11.1	4.2	47.4	33.9	9.0	0.3	0.9	8.4
⑥ 困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実	333	39.3	31.8	7.5	1.2	15.6	4.5	50.2	32.1	8.7	0.6	0.0	8.4
⑦ 遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり	333	29.1	36.6	13.8	7.5	8.4	4.5	47.1	31.5	12.9	0.3	0.6	7.5
⑧ 授業改善・学力向上のための支援や地域特色を生かした学習など、子どもの視点に立った生活環境デザインへの取り組み	333	30.9	39.6	7.8	2.7	15.0	3.9	42.3	35.1	12.6	0.6	0.9	8.4
⑨ 若者の交流や地域との関り、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり	333	24.3	41.7	9.6	3.3	16.8	4.2	33.6	36.9	18.3	2.1	1.2	7.8
⑩ 雇用拡大の促進や若者向けの安価で良好な住宅環境の提供、空き家の利用促進など、働く場や生活環境の確保への取り組み	333	25.8	38.7	12.6	3.0	15.6	4.2	37.8	38.4	15.0	0.6	0.3	7.8

(4) 村山市の住みやすさ

○村山市の住みやすさをみると、両者とも「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい派”（就学前児童 55.0%・小学生 46.5%）が「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた“住みにくい派”（就学前児童 21.3%・小学生 22.2%）を上回っており、就学前児童の評価が高い。

【就学前児童 問 38】【小学生 問 24】

あなたは、村山市の住みやすさについてどう感じていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

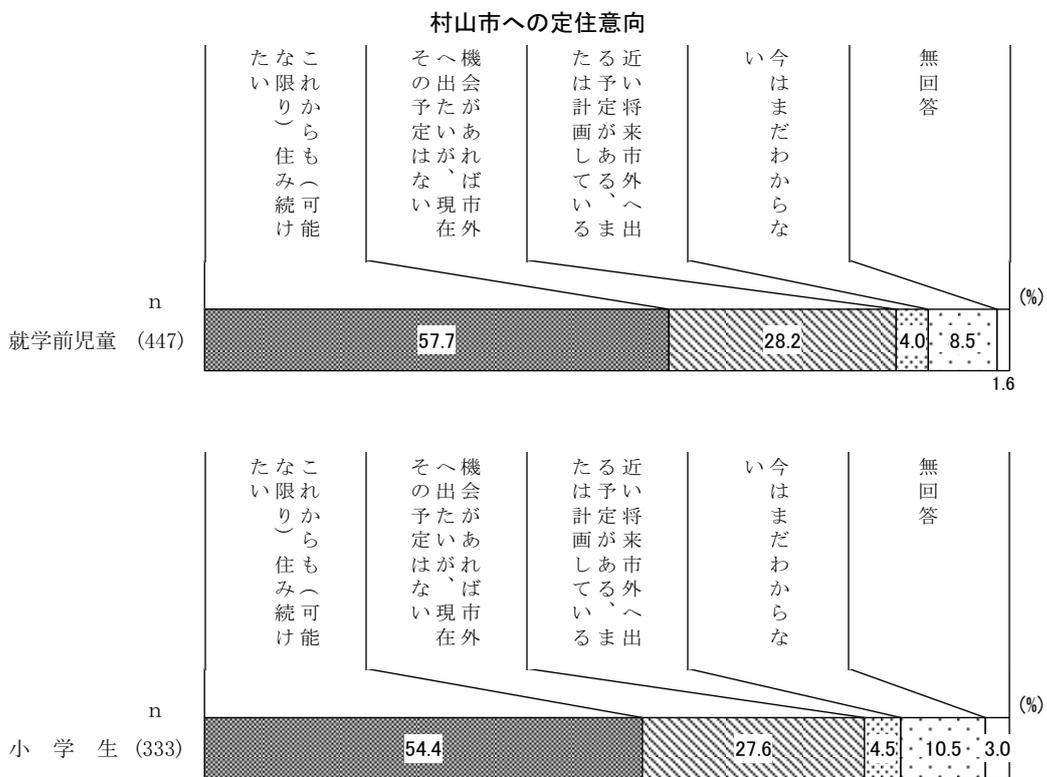


(5) 村山市への定住意向と定住し続けるために必要なこと

○村山市への定住意向をみると、両者ともに「これからも（可能な限り）住み続けたい」（就学前児童 57.7%・小学生 54.4%）が最も多く、以下「機会があれば市外へ出たいが、現在その予定はない」（就学前児童 28.2%・小学生 27.6%）、「今はまだわからない」（就学前児童 8.5%・小学生 10.5%）、「近い将来市外へ出る予定がある、または計画している」（就学前児童 4.0%・小学生 4.5%）の順になっている。

【就学前児童 問 39】【小学生 問 25】

あなたは、今後も村山市に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）



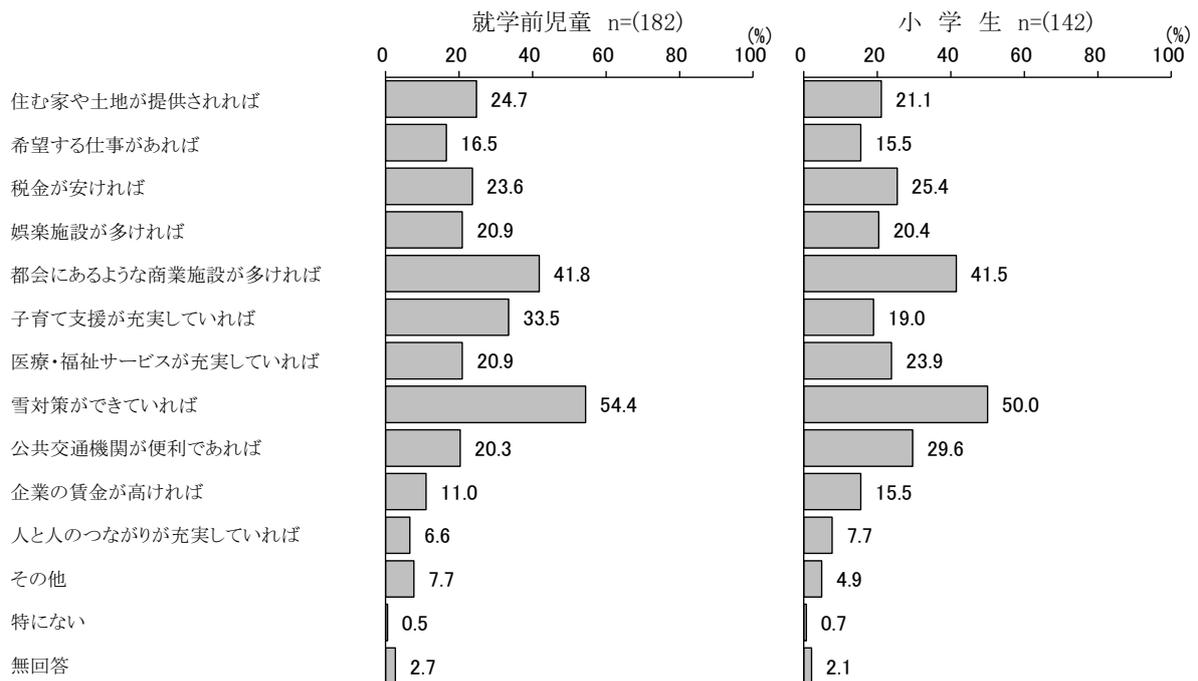
○定住し続けるために必要なこと[合算]をみると、両者ともに「雪対策ができていれば」(就学前児童 54.4%・小学生 50.0%)、「都会にあるような商業施設が多ければ」(就学前児童 41.8%・小学生 41.5%)が上位2項目となっているが、3位は就学前児童では「子育て支援が充実していれば」(33.5%)、小学生では「公共交通機関が便利であれば」(29.6%)となっている。

○定住し続けるために必要なこと[1番目]をみると、上位2項目は[合算]とかわりはないが、3位は両者ともに「住む家や土地が提供されれば」(就学前児童 13.2%・小学生 11.3%)となっており、一部の人に必要性が高いことがうかがえる。

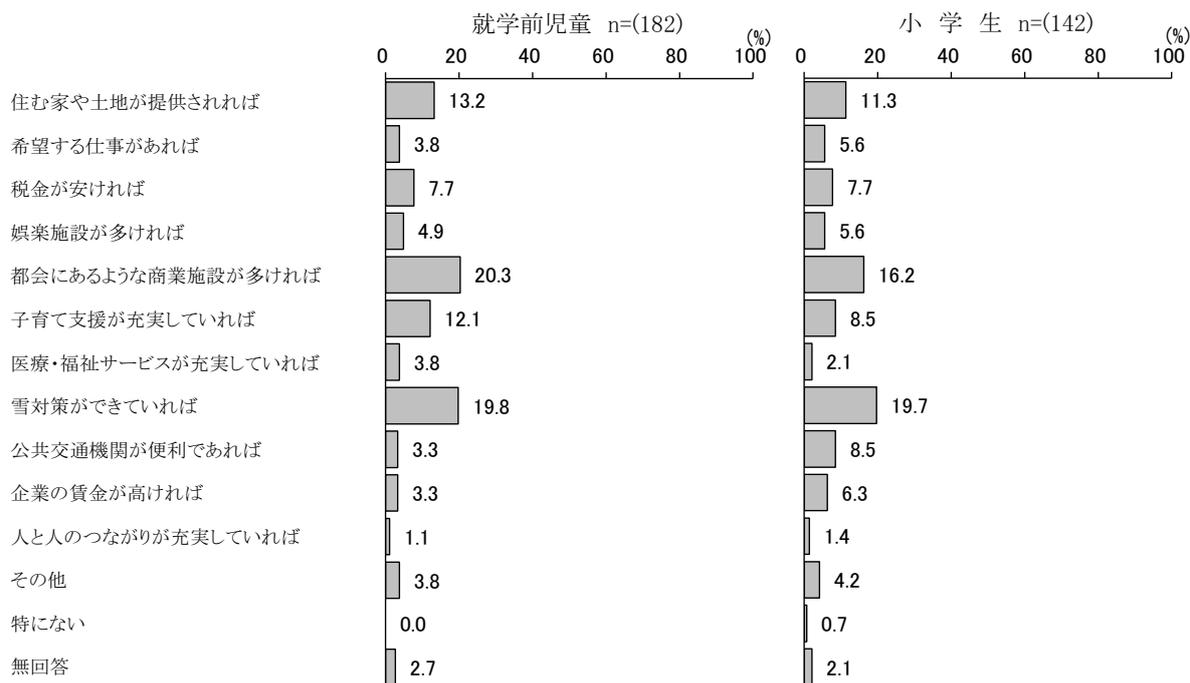
【就学前児童 問 39-1】【小学生 問 25-1】

問 39 (小学生 問 25) で「機会があれば市外へ出たいが、現在その予定はない」「近い将来市外へ出る予定がある、または計画している」「今はまだわからない」と回答された方(“転出の可能性のある方”)におうかがいします。あなたは、どのようになれば、現住地で住み続けたい・離れても戻ってきたいと思いませんか。重要な理由の順に最大3つまで選び、それぞれの1番目から3番目の欄に番号を記入してください。

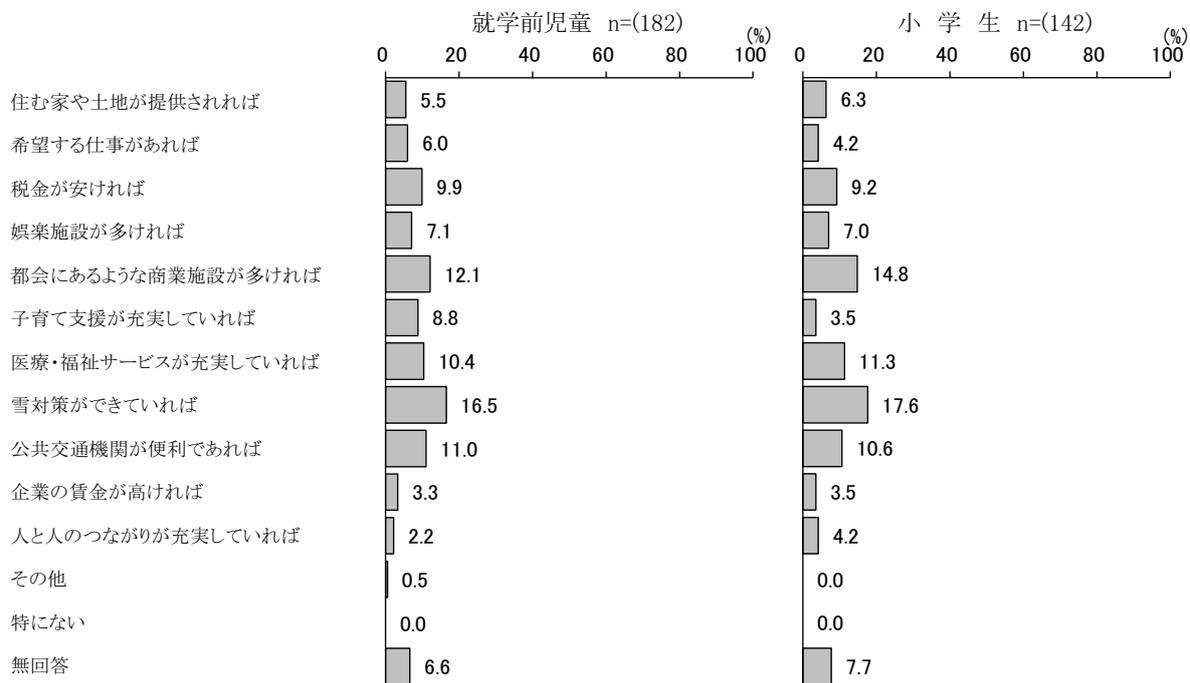
定住し続けるために必要なこと[合算]



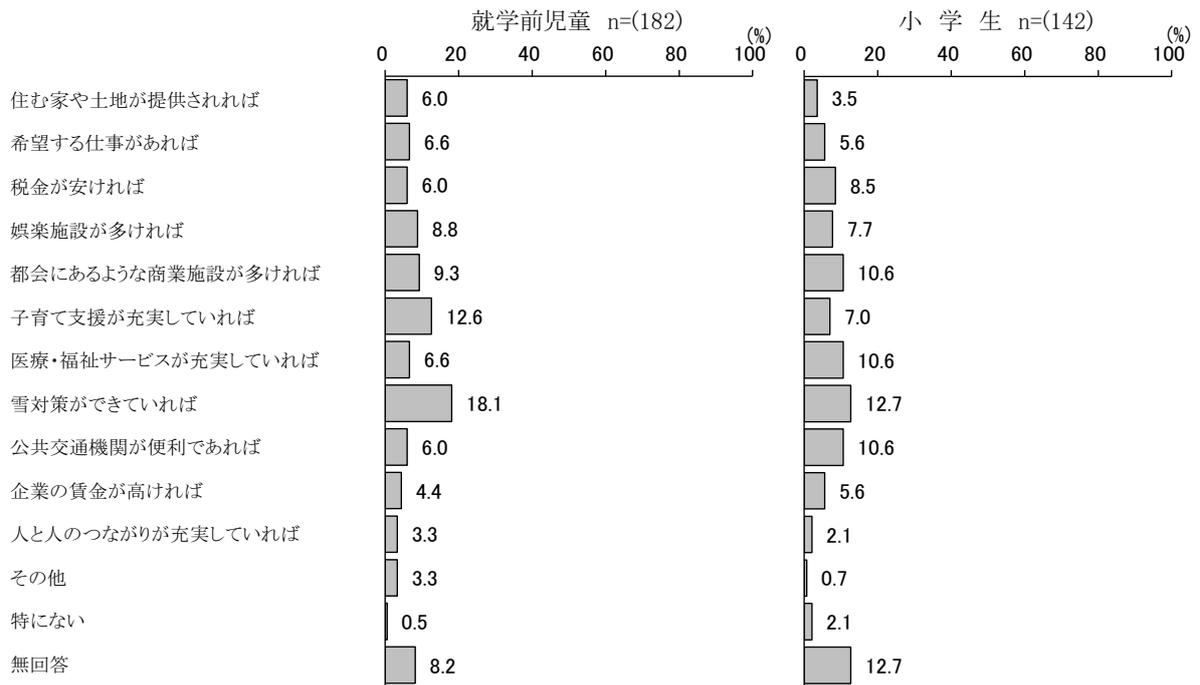
定住し続けるために必要なこと[1番目]



定住し続けるために必要なこと[2番目]



定住し続けるために必要なこと[3番目]

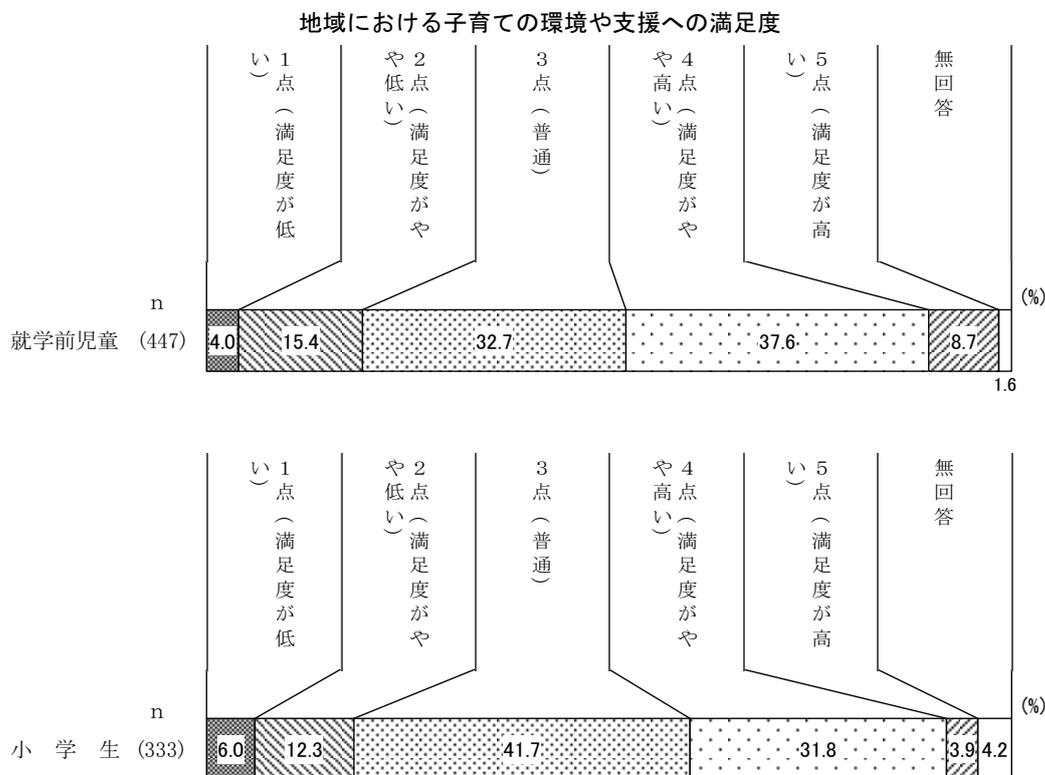


(6) 地域における子育ての環境や支援への満足度

○地域における子育ての環境や支援への満足度をみると、就学前児童では「4点（満足度がやや高い）」（37.6%）が最も多く、「5点（満足度が高い）」（8.7%）と合わせた“満足派”は46.3%となっている。なお、次点は「3点（普通）」（32.7%）であった。小学生では“満足派”は35.7%にとどまり、「3点（普通）」（41.7%）が最も多く、就学前児童よりやや満足度が低くなっている。

【就学前児童 問40】【小学生 問26】

お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。



3. 自由意見について

- 自由記述部分について回答者の意見・要望等を15の内容に分類した。
- 回答者数は就学前児童170人、小学生94人、意見の合計数は就学前児童297件、小学生142件となっている。
- 結果をみると、就学前児童では「交流・広場・催物・公園」が最も多く、以下「経済的負担」、「教育・保育の事業」となっているが、小学生では就学前児童で2位の「経済的負担」が最も多く、以下「交流・広場・催物・公園」、「放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方」の順になっている。

【就学前児童 問41】【小学生 問27】

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<就学前児童>

(件)

順位	内容	件数
1	交流・広場・催物・公園	71
2	経済的負担	40
3	教育・保育の事業	38
4	母子保健・医療	32
5	生活環境（商業施設・雪含む）	25
6	子育て支援	22
7	安心・安全な街づくり	14
8	学校について	13
9	行政全般	10
10	病児・病後児保育と一時預かり （宿泊を伴うものも含む）	6
10	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	6
10	特に支援が必要な家庭について （ひとり親や障がい児家庭など）	6
13	労働環境	5
14	教育・保育施設統合	4
14	相談・情報提供	4
-	その他	1
合計		297

<小学生>

(件)

順位	内容	件数
1	経済的負担	28
2	交流・広場・催物・公園	21
3	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	19
4	母子保健・医療	13
5	安心・安全な街づくり	12
6	生活環境（商業施設・雪含む）	11
7	行政全般	10
8	学校について	8
9	子育て支援	7
10	教育・保育の事業	3
11	教育・保育施設統合	2
11	特に支援が必要な家庭について （ひとり親や障がい児家庭など）	2
11	相談・情報提供	2
11	労働環境	2
15	病児・病後児保育と一時預かり （宿泊を伴うものも含む）	1
-	その他	1
合計		142